

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 8 No 06

8 3 号

平成12年 6月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

もう一度、チャイルドシート

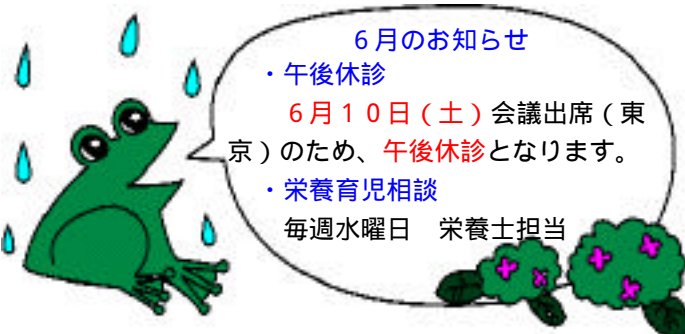
院長

4月からチャイルドシートが義務化されたことを、皆さん御存知だと思います。先日『お母さんクラブ』で日本自動車連盟(JAF)の御協力により、チャイルドシートの講習会を開催しました。3年前にもチャイルドシートについて書きましたが、今回再び考えてみたいと思います。

仙台でゴールデンウィークにチャイルドシートの装着率を調べたところ、わずか30%ということでした。正直言ってまだこんなに低いのかと、驚きを感じました。確かに反則金はありませんが点数が付くのですから、もっと装着率が高いものと思っていました。装着率が低い理由を考えると、“自分だけは事故に遭うはずが無い”、“抱っこしていれば大丈夫”、“値段が高い”、“どうやって選んだらいいのかわからない”などでしょう。しかし自動車事故に限らず不慮の事故というのは、起こってはじめて後悔することなのです。10Kgの子供を抱いて時速50Kmで衝突した場合、その腕には何と300Kgの力がかかります。その力を腕で支えることは、不可能なことです。例え、支えられる腕力があっても、パニックになれば我が子のことまで考えが回りません。そんな時チャイルドシートは、親の代わりになってくれるのです。親の代わりになるのですから、高いものではないでしょう。

さてどんなチャイルドシートが、いいのでしょうか。誰でも高価格ものがいいと思うし、同じ値段なら格好がいいものをと考えがちです。以下講習会での幼児用シートの選び方を、列挙してみます。

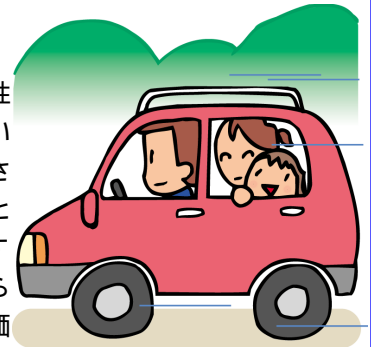
1. 取り付けが簡単なもの
簡単であれば、しっかり取り付け可能。
2. 安全基準に合格しているもの
日本だけでなく、欧米のでもOK。
3. あまり重くないもの
重いものは扱いが大変で、不安定になることも。
4. クッションやカバーが簡単に取り外せるもの



簡単に洗濯できるほうが、衛生的。
5. 背もたれが高いもの
頭部の保護だけでなく、成長しても使える。
6. サイドプロテクターがしっかりしているもの
横からの衝撃を受けたときにも、安全。
7. 座面の位置が低く、面積が大きいもの
重心が低く広くなると、安定。
他にも、値段だけで選ばない(高い方が安全とは限らない)、見た目で選ばない(見た目の豪華さと安全性は比例するとは限らない)、機能性を重視するという事です。また車(シート)の種類によっては、しっかり取り付けられない場合もあるので、できるだけ買う前に装着を試みることを勧めていました。

こんな話を聞いた矢先、チャイルドシートの安全性のテストが雑誌に載っていることを知りました。皆さんは、「暮らしの手帳」という雑誌を知っていますか。雑誌なのに広告をとらずに、客観的な商品の評価をメインにしている雑誌です。チャイルドシート安全性のテストはいくつかありますが、本格的なテストは初めてのようです。内容は読んでもらうしかありませんが、概ね上に示したようなところです。基本的には、価格や見た目だけでは、必ずしも安全は買えないということでしょうか。また広告をたくさん出しているメーカーが、必ずしも安全ではないのです。読んでみましたが、子供たちの安全についてしっかり考えてられていました。この勇氣ある評価に拍手を送りたい、そんな気持ちです。

以前と比べると安くなってきたと言っても、まだまだ高価なものかも知れません。しかしその価格の比較対照になるのは、こどもの命なのです。そう考えれば、いくら高くともいいでしょう。まだ持っていない方、「暮らしの手帳」を一読して購入を考えてみてはいかがでしょうか？



新しい事務スタッフが入りました。

従来のスタッフ同様、よろしくお願ひします。

5月から新しくはいりました、福地あさかと申します。まだ、わからないことなどありますが、これから勉強していきたいと思います。はやく、皆さんの顔と名前が一致するように頑張ってお願ひします。どうぞよろしくお願ひします。

福地 あさか

読者の広場

泉区の伊藤さんから『ひとりごとです・・・』という題で、2回メール頂きました。1回目は遠くて通うのが大変だから、車の免許でも取るかということになりました。2回目を紹介したいと思います。「先日はありがとうございました。Tが他の病院にずっと行って、治らなくなって、見放されたような状況の時に川村先生に診てもらわないと納得できなくなって、病院からタクシーよんで直行してしまいました。先生は本当に納得できる診察と説明をしてくださって、安心しました。親にとってこどもは世界で一人の大切な宝物です。やはり信頼できるお医者様のところに行けるのはしあわせなことだと思います。ホームページとか見ると全国に川村先生を頼っている人がいて、小児科選りも大変なんだと、あらためて思っています)ずっと続く子供の病気や夜泣き、病院通いにも、もう疲れてきていて他の子と同じように公園で遊びたいし、上の子の幼稚園の行事も(参観とか親子遠足)元気に出席したいし(下の子が病気だと、預け先もないので出席できなくなるのです)。何よりもこどもが元気な姿を見ていたい気持ちがピークに達していました。周りから「かわいそうだね」「大変だね」と毎日のように言われつづけるのにも、もう疲れてきていました。でも先生のところに行ってから、ふっと楽になりました。こどものひどいセキや熱も不思議なくらい楽になったのもありますが親身になって対応してくださるし病院内の雰囲気も明るいし…。まだ言葉もあまりしゃべれない子ですが「テテ・・・テテ・・・」って泣きながら、手を握って欲しいというように小さな手を私の手に差し出す時、ぎゅっと握りしめて「ママのところに生まれてきてよかったね。いい先生のとこ連れていってあげるからね」って思いました。まだ微熱はあるし、今までのパターンからまだ安心はできませんが、今のところおちついてます。うちにも早く春が来て欲しいな・・・。(梅雨入りしちゃう前に外遊びしたいです)それでは先生もお身体にきをつけてください。」。他の病院で診てもらって、すぐそのまま当院までタクシーで駆けつけてくれるなんて、本当に医者冥利に尽きる感じです。本当にありがとう。親の安心も医療にとっては、とても大事なことだと思います。また先月号の「クリニックNEWSを読んで」の感想を泉区の星川さんより「先生に是非インターネットの活動を続けていただきたくてまた、いい病院に出会えたことがうれしくてメールしました。」という文章とともに頂きました。もう一つ「ホームドクターの川村先生へ」という題で、青葉区の泰楽さんから「毎回タクシーに乗っての往復で、家計としてはつらいけど、でもやっぱり川村先生のところはホームドクターだわ・・・とあらためて感じています。これからもよろしくお願いします。」という文章とともに頂きました。両方とも、とてもありがたいメールで全文紹介したいところですが、紙面の都合で残念ながら省略します。いつか機会があれば、紹介しましょう。

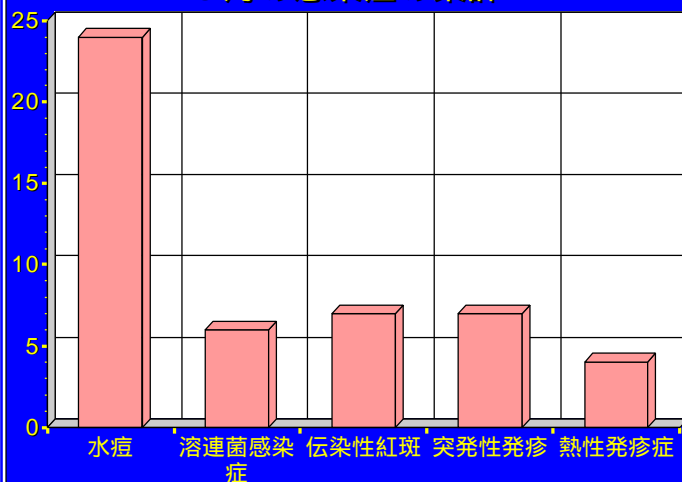


第2回の『お母さんクラブ』 6月15日(木) 福沢市民センターで開催します。『これだけは知っておきたい! こどもの病気』という題です。“こどもの病気は様々です。しかし知っておかなければならない基本的なことは、それほど多くありません。今回は、それら基本的なことにスポットを当てて、考えてみたいと思います。新米ママ・ベテランママのどちらにも役立つこと請け合いです。奮って御参加ください。”

もうご覧になった方もいると思いますが、エクスメディア発行の“超図解PLUS定番ホームページ詳解1500選 インフォメーション編2000年度版”“子供の病気についてメールで相談できる病院は?”に、ホームページが写真入りで掲載されています。4月発売なので、ちょっと遅くなりましたが紹介しておきます。それともう一つ、「ドリームキャスト」のスターターズキットの小冊子で紹介される予定です。6月中には、いくつかの全国誌で紹介されます。乞う御期待、詳しくは来月号で。



5月の感染症の集計



またまた水痘が大流行です。どうも休日当番(5月5日)の時に、待合室に水痘の患者さんがいたようです。発疹がでている場合には、必ず受付で一言お願いします。グラフには示していませんが、発熱・目やに・せきがあり、中には咳がひどく熱が長く続く風邪(アデノウイルス?)もあります。他に特別な感染症の流行はありません。

編集後記

最近はずいぶん暑く西日本では、真夏日も記録されています。透き通った青空を見ていると、飛んでいきたい気分です。今問題になっているように紫外線が強い時期でもあります。あまり日焼けをしないよう。陽射しには十分な、注意を!!

